

乳がんの
大事な話

日本人はデンスブレストが多い!?

デンスブレストとは、病気の名前ではありません。
デンス ⇒【密集した、濃い】ブレスト⇒【乳房】という意味です。
高濃度乳房とも呼ばれ、乳腺がよく発達した乳房のことを言います。



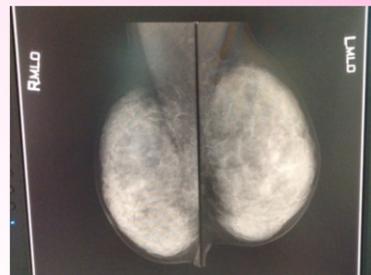
マンモグラフィ検査
&
超音波検査
の併用が有効です



乳腺濃度の低い人



乳腺濃度の高い人
(デンスブレスト)



デンスブレストは日本人にとっても多いことで知られていて、マンモグラフィ検査をしても白く写ってしまうため、病変を検出することが難しくなります。マンモグラフィ検査は、超音波検査に比べて石灰化や乳腺の歪みを見つけだすことは優れていますが、乳腺と癌の濃度差はほとんどないため、全体が白く写る乳腺には不向きなのです。デンスブレストであった場合は、マンモグラフィ検査に加え、超音波検査を併用することが有効とされています。

乳がんは、マンモグラフィ検査を受けたので大丈夫と思っている方も多いと思いますが、マンモグラフィ検査によるがんの発見率は100%ではありません。乳がん検診を受けようと考えられている方は、マンモグラフィ検査と超音波検査を受けられてみてはいかがでしょうか。また、定期的に継続して検査を受けることが望ましいとされており、40歳以上の方の場合は、2年に1回は検査を受けることが適切とされています。

乳がん検診を受けたことのない方、しばらく受けられていない方は、一度受けられてみるのはいかがでしょうか。

乳がん検診のご案内

検診日時：毎月第2・4月曜日 14:00～

受診方法：予約制となります。

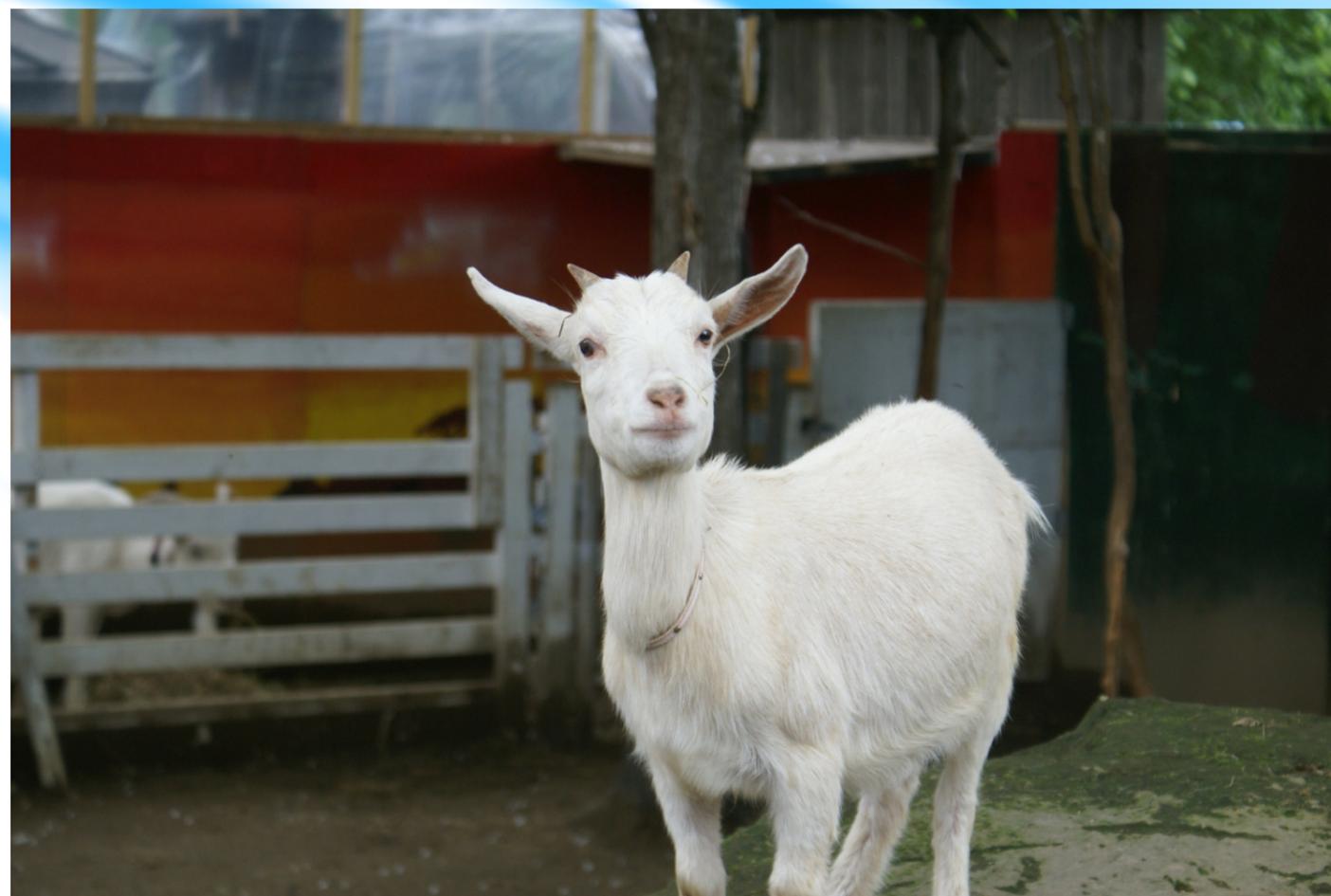
詳細はお電話にてお問い合わせ下さい。

電話：0146-42-0701

静仁会静内病院 広報誌

病院報 Vol.136
平成29年8月1日発行

レラ～Rera～



第23回 病院祭

9月10日(日) 10:00～14:30

多くの方のご来院、お待ちしております!



院長の独り言

～ 漢方薬と新薬の違いとは ～



人の身体は外界と身体の内部から常に色々な攻撃にさらされています。外界からは病原体などの攻撃、内部からはがん細胞などの攻撃です。これらの多数の敵をやっつけ続けて初めて健康という状態が得られます。人は生まれつき病気で、生きるということは病気を克服し続けることだとも言えます。

身体の内外の敵を効率よくやっつけるために人間は薬というものを発見しました。薬のうちで敵を攻撃するタイプの薬、ある特定の測定値や検査値を下げるタイプの薬は理解しやすいと思います。病原体を攻撃する抗微生物薬、がん細胞を攻撃する抗がん剤、血圧を下げる降圧薬、悪玉コレステロールを下げるコレステロール降下薬などです。薬効を示す主成分は1種類です。西洋薬(新薬)はほとんどがこのタイプです。新薬の特徴は、新薬はいつでも薬だということです。降圧薬を例に説明しますと、降圧薬は患者さんの血圧に関係なくいつでも降圧薬です。つまり、高血圧の人に投与すると血圧を下げますが、正常血圧や低血圧の人にも降圧薬ですので、下げる必要のない血圧も下げて低すぎる血圧になってしまいます。患者さんは自分で調整ができないので、処方する医師が調整しなければなりません。

これに対して漢方薬は数十種類以上の微量な化合物の集合体です。それらの成分が多数の作用点を一斉に刺激します。その結果、非常に複雑だが、生命維持に必須のシステム、身体を攻撃から防御する免疫・炎症系、血液循環のかなめである微小循環系、細胞が持つ水の出入口であるアクアポリンを介した水の出入り、アディポネクチンが褐色脂肪細胞を刺激することで起こる熱産生系などが正常化する応答が引き出されます。漢方薬は新薬のようにいつでも薬なのではなく、患者さんが一定の条件を満たしたときだけ、システムを正常化させる応答を引き出し、結果としては漢方薬が薬として効いているように見えます。例えば、芍薬甘草湯はこむら返りにとっては薬で、腓腹筋を短時間で緩める応答を引き出しますが、こむら返りを起こしていない人に投与しても、微量の調味料の集合体のようなものが、身体にばら撒かれるだけで、患者さんは無反応です。



作用機序を説明する文章では、新薬は薬が主語で「この薬が〇〇に作用して、××のような効果が出ます」となりますが、漢方薬は患者さんが主語になり「患者さんが〇〇を服用しますと、××という応答が引き出されます」という見慣れない説明文になります。漢方薬は1個1個が薬とはいえない微量の化合物の集合体で、身体のシステムを正常化する、それ自身がシステムバイオロジー的な薬剤なのです。



研修医紹介



名嘉 祐貴 医師

6月、7月の2ヵ月間を
名嘉医師にお越しいただきました。



趣味:バドミントン

湘南鎌倉総合病院から参りました名嘉と申します。2ヵ月間勤務させていただき、短い間ですが大変お世話になりました。静仁会静内病院は、限られた医療資源、人材の中で全職種の方が常に最良の医療を提供することを考えて働いており、大病院にも劣らぬ医療で大病院より患者様に近い素晴らしい病院だと感じました。このような場で勤務、勉強させていただき本当に感謝しています。ありがとうございました。

福田 舞 医師

7月の2ヵ月間を
福田医師にお越しいただきました。



趣味:テニス、旅行、写真、乗馬(2回笑)

君津中央病院から参りました福田です。1ヵ月間大変お世話になりました。今まで、いかに上の先生方に病棟のこと、薬の組成や患者さんへのICをやってもらっていたか痛感しました。迷惑しかかけていないにも関わらず、優しい方々に恵まれて他職種で働くことの大切さを感じました。



おいしくたのしい! 糖尿病患者さんのおかず

管理栄養士 市野真理子
デザイナーフーズ株式会社

うま辛だれの茹で鶏



材料(2人前)

- ◆ 鶏むね肉...1/2枚(125g)
- ◆ きゅうり...1本(100g)
- ◆ 醤油...小さじ2強(13.5g)
- ◆ 酒...小さじ2強(11.25g)
- ◆ 米酢...小さじ2強(11.25g)
- ◆ おろしにんにく...1片(2.5g)
- ◆ 砂糖...小さじ2(6.75g)
- A
- ◆ 豆板醤...少々(1g)
- ◆ 胡麻油...大さじ1/2(6g)

(1人分) カロリー: 136kcal 炭水化物: 6.7g 塩分: 1.1g

- ① きゅうりは長さ5cmに切り、8等分にします。
- ② 皮を取った鶏むね肉を茹で、きゅうりの大きさにあわせて切り分けます。
- ③ Aを混ぜ合わせ、たれを作ります。
- ④ きゅうりの上に鶏むね肉を盛り、③のたれをかけます。